

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

## 事業名 リニア中央新幹線建設対策推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部都市公園整備局公共交通課リニア推進係 電話番号：058-272-1111(内 2734)

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,595千円(前年度予算額：1,595千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,595	0	0	0	0	0	0	0	1,595
要求額	1,595	0	0	0	0	0	0	0	1,595
決定額	1,595	0	0	0	0	0	0	0	1,595

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・リニア中央新幹線の早期実現と利便性向上を目指し、関係市町村や経済団体等で組織する「リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会」に対して負担金を支出する。
- ・「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会(全国同盟会)」との連絡調整や会議への出席、及びJR東海や国への要望活動等に要する経費を支出する。

### (2) 事業内容

- ・リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会負担金
- ・沿線都府県など関係自治体及び団体との連絡調整費

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10

### (4) 類似事業の有無

- ・なし

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	644	連絡調整、要望活動
使用料	54	高速道路使用
負担金	897	県期成同盟会
合計	1,595	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略  
「3地域にあふれる魅力と活用づくり」  
「(2)次世代を見据えた産業の振興」  
「⑤産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備」

#### (2) 国・他県の状況

- ・神奈川県、山梨県、愛知県、三重県、奈良県において、本県と同様に県期成同盟会が組織されている。
- ・類似組織として、長野県では「リニア中央新幹線建設促進長野県協議会」、大阪府では「リニア中央新幹線等建設促進大阪協議会」が組織されている。

#### (3) 後年度の財政負担

- ・リニア中央新幹線の実現まで、同盟会活動を続ける予定。

# 事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2027年の品川・名古屋間のリニア中央新幹線開業に向け、リニア沿線都府県と連携しながら、JR東海等に対してリニアの早期実現をはじめ、駅整備に係る適切な役割分担や利便性向上等を働きかけていく。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

早期開業や利便性向上等に向けた、同盟会や要望活動等の成果について、指標として定量的に管理することは困難。

### (前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

＜県期成同盟会＞ 県、21関係市町村、204団体で構成

総会 令和2年7月29日

リニアの早期実現と利便性向上に向けた決議

要望 令和2年11月16日

総会決議を踏まえ、知事と沿線7市町長によるJR東海への要望

＜全国同盟会＞ 沿線9都府県で構成

総会 令和2年5月28日

リニアの早期全線整備に向けた決議

要望 国やJR東海への春・秋要望

令和2年7月22日 リニア中央新幹線静岡工区に関する声明

### (前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

同盟会や要望活動等を通じ、リニアの早期実現、駅及び駅周辺整備、建設工事の安全対策と沿線自治体の意向に配慮した環境対策推進、県内企業の受注機会拡大や県産品活用等の働きかけを行った。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア中央新幹線は、平成26年10月に国土交通大臣から工事实施計画の認可を得て事業が進捗しているが、その実現と活かす取組みのため、同盟会事業を進めていく必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会や要望活動等により、リニア開業に向けた機運を高めるとともに、関係者に対応を促すことができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会開催場所の公共施設使用やインターネット活用など、効率化や経費節減等を意識しながら事業を進めている。</li> </ul>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後も県期成同盟会や全国同盟会等と連絡調整を図り、リニアの早期実現や利便性の向上を目指し、効果的な取組みを行う必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 2027年の開業に向けて、リニア建設工事が本格着工することに鑑み、引き続きJR東海等に対して必要な要望を行うとともに、同盟会開催及び広報・啓発等により、リニア事業に対する県民の理解を深める必要がある。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	